

平成29年8月2日  
中部地方整備局  
豊橋河川事務所  
三河港湾事務所

## 地元小学校の先生13名が豊川と三河港で社会学習

### ～豊川の歴史と三河港の物流や産業、防災対策を学ぶ～

平成29年8月9日(水)、豊橋市内小学校で社会科研究を行っている先生13名が、夏季研修として、豊川の霞堤の歴史と減災対策、三河港における物流と臨港地区産業の現状、南海トラフ地震・津波に対する港内の防災対策を学習するため、豊川と三河港を見学します。

#### 1. 見学行程

平成29年8月9日(水)

- 13:00 豊橋市役所展望室にて豊川の説明(豊橋河川事務所)
- 14:30 カモメリア展望階にて三河港の概要説明(三河港湾事務所)
- 15:00～15:50 三河港 港内見学 (三河港湾事務所 港湾業務艇 しおさい乗船)
- 16:00 終了

#### 2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、豊橋市政記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

#### 3. 取材

- ・取材希望の場合、平成29年8月7日(月)15時までに【別紙】取材申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
- ※港湾業務艇の乗船人員の制限により、三河港港内見学の同行取材は出来ませんので、予めご了承下さい。
- ※取材の際は報道機関名が分かる取材者証(腕章)等着用をお願いいたします。
- ※天候状況により行程の変更または中止となる場合がございます。その場合、当日10時までに連絡致します。

#### 4. 問合せ先

中部地方整備局 豊橋河川事務所 (〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6)  
副所長 春日井(かすがい) TEL 0532-48-2111 FAX 0532-48-8132  
中部地方整備局 三河港湾事務所 (〒441-8075 豊橋市神野ふ頭町1-1)  
副所長 老平(おいだいら)  
沿岸防災対策官 服部(はっとり) TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 宛

FAX番号：0532-32-5049

※FAXの場合は到着確認のご連絡をお願い致します。

「平成29年8月9日

豊橋市内小学校先生による豊川及び三河港見学」

## 取材申込書

申込方法：以下にご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

取材希望件名	①豊川                      ②三河港                      ③両方  ※取材を希望される件名を○で囲んで下さい。
会社名及び部署名	会社名： _____  部署名： _____
取材者  ※全員分の氏名・役職 を記入願います。	代表者氏名： _____  役職： _____
	同行者氏名： _____  役職： _____
	同行者氏名： _____  役職： _____
連絡先 ※代表者の連絡先を 記入願います。	電話番号： _____  FAX番号： _____

**※申込み締切：平成29年8月7日(月)15:00 必着**



# 【参考資料】



## ⑤ 昭和電線ケーブルシステム(株)

電気を送電するために地中に埋設する超高压ケーブルや海底に敷設する海底ケーブルを生産しており、東京ドーム2個分(約17万m<sup>2</sup>)の敷地をもつ世界有数の電力ケーブル専用工場である。



## ⑥ ラゲーナテンボス

2014年にリニューアルオープンした三河湾を望む複合型マリリゾート施設である。海をテーマとして6つの施設があり、遊ぶ・買う・食べる・癒しを存分に満喫することができ、年間約300万人が訪れる。



## ⑦ 竹島

陸側から378m(竹島橋の延長)しか離れていないが、陸側の植生と違った特異な環境があり、暖地性の植生もあるため、昭和5年に天然記念物に指定された。島内には弁天様が奉られている八百富神社がある。



## ⑧ みなとオアシス がまごおり

蒲郡命の海科学館、海賓館マリセンターハウスなどがあり、人々の海辺の安らぎ空間としての役割を果たすとともに、マリレジャー体験なども開催している



## ⑨ 東京製鉄 田原工場

2010年より操業を開始したりサイクル型の製鉄工場である。ホットコイル、縞コイル、酸洗コイル、カットシート等が製造されており、水平引込クレーンでの船積みもできる岸壁も整備されている。



## ④ 六条干潟

三河湾東部(渥美湾)の最も奥まった位置に注ぐ豊川の河口に広がる広大な干潟・浅海域(約350ha)である。六条干潟はアサリをはじめとする数多くの二枚貝の発生場所として知られている。



## ③ ガントリークレーン(コンテナ取扱専用クレーン)

1998年に7号岸壁に1基目のガントリークレーンが設置され、コンテナターミナルが稼働を開始以降、コンテナ貨物の取扱量が増えている。2008年には2基目のガントリークレーンが設置された。



## ② 神野ふ頭

完成自動車の輸入台数・額が23年連続で国内第1位であり、全国の輸入車の約5割を陸揚げしている。2014年8月より、ベンツの輸入も再開され、主な海外メーカー(フィアット、プジョー、ボルボ、ベンツ等)の新車整備工場が立地している。



## ① カモメリア

「日本一の自動車港湾、三河港を知る、学ぶ」をテーマに自動車やコンテナ貨物の輸出入の重要な役割を担う同港を紹介する施設として2005年7月に完成した。三河港のジオラマや自動車運搬専用船・コンテナ船の模型の展示、ライブ映像コーナーの他、展望室も備え三河港を一望できる。



## ⑩ トピー工業 豊橋製造所

豊橋製造所はトピー工業の要とも言えるスチール事業部を擁しており、H形鋼、一般形鋼や多種多様な異形形鋼に至る幅広い製品を製造している。



## ⑮ 新来島豊橋造船所

最大30万DWT型まで建造可能な造船所である。大型クレーンの導入により、自動車運搬船やばら積運搬船も製造していて、中でも自動車運搬船の建造実績は世界一である。



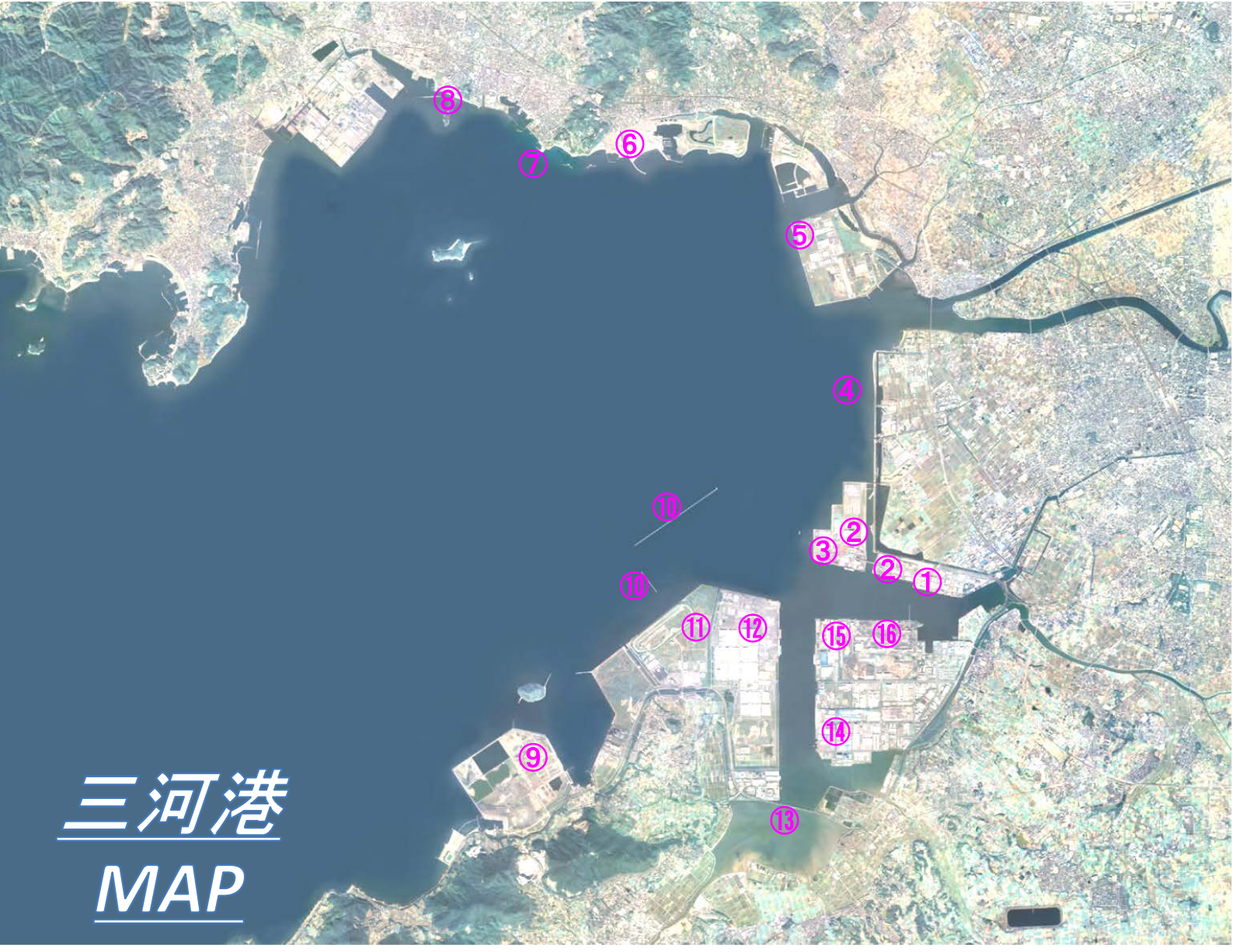
## ⑭ フォルクスワーゲン

フォルクスワーゲン・グループ・ジャパンの本社が立地。新車整備工場が併設されており、三河港で陸揚げされた自動車は三河港を拠点に全国へ配送されている。



## ⑬ 汐川干潟

干潟面積は約280haあり、国内最大級の干潟である。また、渡り鳥の屈指の飛来地でもあり、254種もの鳥が訪れた記録がある。



# 三河港 MAP



## ⑩ 防波堤(北・南)

台風時や季節風等で発生する波浪を遮り、港内の静穏を保ち、船の荷積み卸しの円滑化、停泊の安全や港内施設の保全を図るために設けられている。現在は北側にある防波堤の延長工事を実施している。



## ⑪ 田原臨海部風力発電 他

19基の風力発電施設の他、最近では4つの事業者それぞれで、風力や太陽光発電施設の建設を進めており、これらが完成すると、一般家庭約6万6千世帯分の発電を行うこととなる。



## ⑫ トヨタ自動車田原工場

国内最大での工場、レクサス、ランドクルーザー、RV4、ヴァンガード等の車両とエンジンの生産をしている。レクサスは平成17年より国内向けの生産を開始し、最新鋭の技術を導入し、徹底した品質管理を行って製造している。